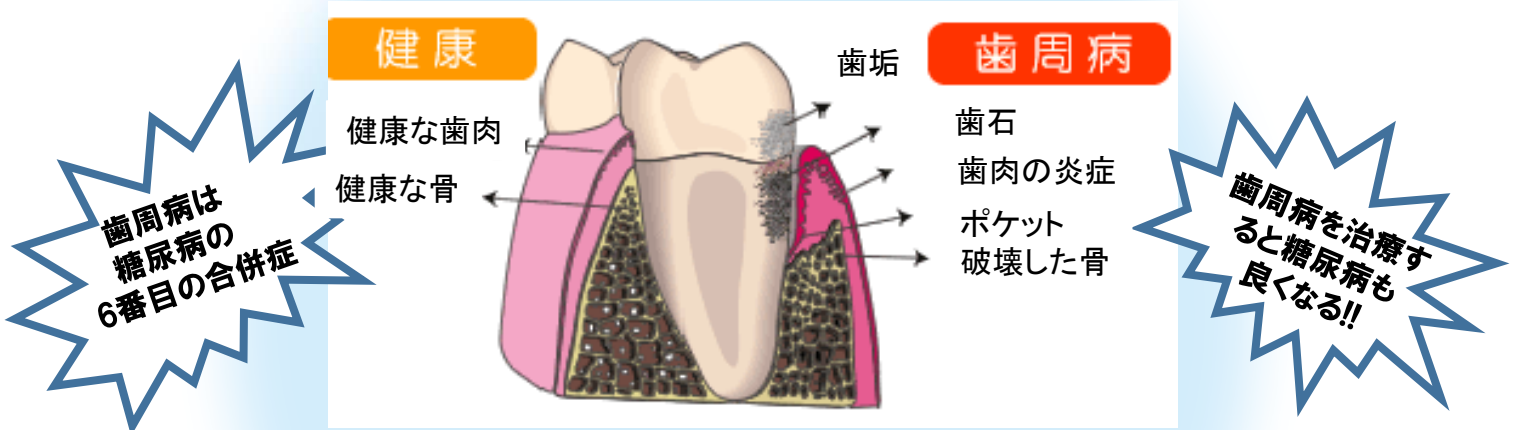


# 糖尿病と歯周病の関係



## 歯周病ってどんな病気？

「歯周病」は、口の中の細菌によって歯肉に炎症が起きる病気です。歯と歯ぐきの境目(歯周ポケット)に細菌が入り、歯肉が炎症を起し赤く腫れブラッシング時に出血しますが、痛みなどの自覚症状はありません。しかし病気が進むと、歯を支える組織が侵され、ついには歯が抜けてしまいます。糖尿病の人は免疫力が低下して、歯ぐきの炎症が起こりやすくなるため、歯周病を悪化させます。

半年に一度は  
定期検診を受けましょう。

## 歯周病が糖尿病を引き起こしたり、悪化させることも!?

歯周病を引き起こす細菌などが歯肉から血管に入り、炎症を起こすため血栓がつくられやすくなります。また、血糖値を下げる働きをもつインスリンの効きを悪くするともいわれています。歯周病の治療をすることで、糖尿病がよくなると考えられています。

## 歯周病検診ってどんなことをするの？

- ①口腔の清掃状況や噛み合わせのチェック
- ②歯周ポケット(歯のまわりの歯肉)の検査(出血や歯石の有無)
- ③歯肉の腫れ、歯槽骨(歯を支えている骨)の状況の確認



### プラーク付着検査

歯と歯の間や歯と歯茎の境目にプラークが付着しています。

プラーク



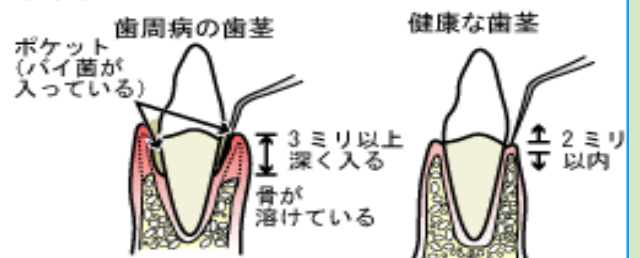
### 動揺度検査

ピンセットで歯を動かしてみても動揺度を調べます。



### 歯周ポケットの測定検査

歯周病になると歯と歯肉の間の溝(歯周ポケット)が深くなり、その中に歯石が溜まります。



※この他に歯周病の精密検査として、X線検査をすることもあります。